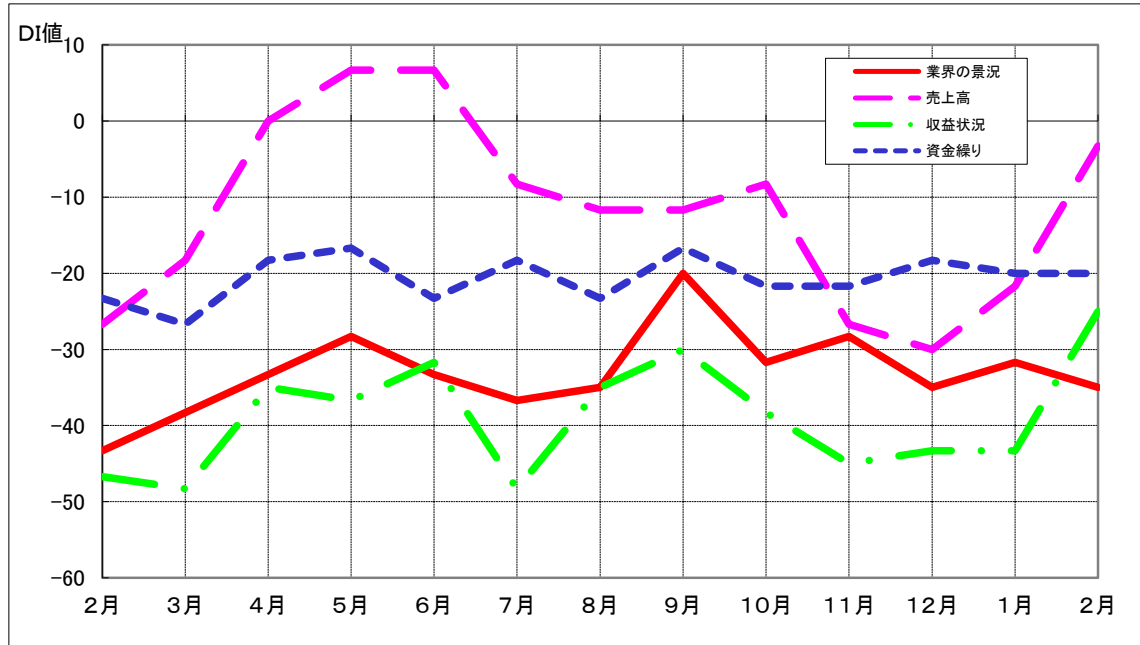


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和4年2月～令和5年2月

単位:ポイント



	R4					R5							
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
業界の景況	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	-33.3	-36.7	-35.0	-20.0	-31.7	-28.3	-35.0	-31.7	-35.0
売上高	-26.7	-18.3	0.0	6.7	6.7	-8.3	-11.7	-11.7	-8.3	-26.7	-30.0	-21.7	-3.3
収益状況	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	-31.7	-48.3	-35.0	-30.0	-38.3	-45.0	-43.3	-43.3	-25.0
資金繰り	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	-23.3	-18.3	-23.3	-16.7	-21.7	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0

2月のDI値は前月と比べ、2項目改善、1項目不変、1項目悪化となった。「売上高」DI値は18.4ポイント改善のマイナス3.3ポイント、「収益状況」DI値は18.3ポイント改善のマイナス25.0ポイントとなり、「資金繰り」DI値は不変のマイナス20.0ポイント、「業界の景況」DI値は3.3ポイント悪化のマイナス35.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、4項目すべて改善となった。「売上高」DI値は23.4ポイント、「収益状況」DI値は21.7ポイント、「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善となった。しかし、売上高DI値以外は依然としてマイナス幅が大きく厳しい状況にある。

製造業では、継続して原材料や資材の値上がりが報告されているが、一部業種では価格転嫁が進み収益状況の改善が見られてきた。しかし、多くは未だ思うように商品価格へ転嫁することができず収益を圧迫している。加えて、電気料金や燃料の上昇は止まる兆しが見えず、さらなる負担の増加となっている。今後、さらに物価高が進むことによる経済の停滞を心配する意見が多く、先行きを不安視している。

非製造業では、街や商店に人出が徐々に戻ってきており、新型コロナウイルス禍中と比べると人流が回復してきているようであるが、製造業と同様に材料費、光熱費の値上がりで経費が増加し、収益は思う様にあがっていない。